

第 2 回二宮町政策評価委員会 資料

総合戦略評価について

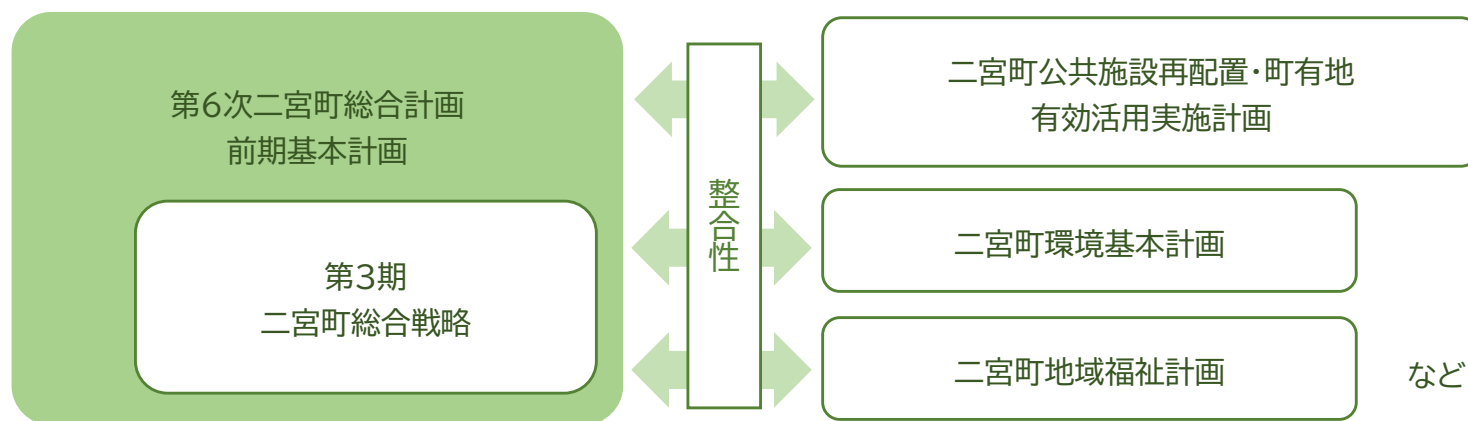


総合戦略と評価の目的について

町総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創成総合戦略」（現「デジタル田園都市国家構想総合戦略」）の地方版として、人口減少・少子高齢化などといった地域が抱える社会課題に対する取り組みの推進を図るため策定した計画で、第3期として令和9年度までの町の目標や方針を定めたものです。

これらの取り組みを進めるにあたっては、定期的、多角的な評価を行いながら、内容の検証・改善をすることが重要であるため、行政内部と外部有識者等による評価を実施します。

総合戦略と各種計画との関係⇒



総合戦略の構成について

基本目標1

ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

施策1-1: 公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出

施策1-2: 地域で支えあう体制の構築

施策1-3: 豊かな環境の保全と気候変動対策の充実

施策1-4: デジタル技術による行政サービスの向上

基本目標2

新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくる

施策2-1: 二宮らしい魅力の創出と発信

施策2-2: 特色ある教育活動の推進

基本目標3

出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる

施策3-1: 妊娠から子育てまでの切れ目のない支援

施策3-2: 仕事と子育ての両立支援

基本目標4

地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる

施策4-1: 地域商工業の活性化

施策4-2: 地域農林業の活性化

総合戦略の評価について

前述したとおり、町の総合戦略は「4本の基本目標」と「10本の施策」で構成されています。

さらに、各施策には関係する予算等事業と進捗を確認するための重点業績評価指標（KPI）を位置付けており、総合戦略の評価にあたっては、KPIの達成状況や、予算等事業の成果・課題等を考慮したうえで、「10本の施策」に対して行います。

↓町の総合戦略（計画抜粋）

5-2 基本目標

【基本目標1】		
ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる		
数値目標	基準値	目標値
住みたいと思う町民の割合（％） （総合戦略アンケート調査）	86.8 （令和4年度）	88.0

基本的方向

人口減少・少子高齢化社会を見据え、町民サービスの向上と持続可能な行政運営のため、未利用町有地の有効活用を含め、施設の利便性を高めることで自立した生活が送れるよう、地域の人々との関わりを進めます。環境面においては、「脱炭素社会」や「循環型社会」の構築に向け、自然災害への対応するため、都市基盤の維持・強化、手続きのオンライン化など町民の利便性向上及び暮らしを推進します。

SDGsへの貢献



施策1-1:公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出

今後の人口減少・少子高齢化社会を見据え、町民サービスの向上と持続可能な行政運営のため、新庁舎整備をはじめとして生涯学習センター・ラディアン周辺へ行政機能を集約するなど、未利用町有地の有効活用を含め、施設の利便性を高めるための施設の再編を進めます。

再編にあたっては、近年激甚化している自然災害への対応、町民活動の推進、子育て・高齢者世帯への支援など、すべての世代が暮らしやすくなるよう、各施設配置等を検討していきます。

【主な事業】

- ・公共施設再配置事業（施設再編推進事業）・財産管理経費
- ・新庁舎整備事業（施設再編推進事業）
- ・東大栗樹園跡地活用事業・行政改革の推進



【5年間の進捗を確認する重要業績評価指標（KPI）】

項目	基準値	目標値
公共施設の総延床面積（㎡）	68,729.08 （令和3年度）	68,029,836
東大栗樹園跡地を専用予約で利用した新規団体数（人）	0 （令和3年度）	10
1地区1地域集会所施設化（施設）	25 （令和3年度）	20

施策1-2:地域で支えあう体制の構築

今後の人口減少・少子高齢化社会を見据え、誰もが健やかに地域で自立した生活が送れるよう、地域の人々との関わりの中で、支え合いながら生活できる環境づくりを進めます。

また、地域コミュニティの活性化と魅力向上のため、高齢化を見据えた地域活動のあり方を地域とともに検討し、自主的な地域組織の強化を支援します。

【主な事業】

- ・地域介護予防活動支援事業・生活支援体制整備事業
- ・認知症総合支援事業・在宅障がい者支援事業
- ・町民活動推進事業・防災訓練・自主防災組織育成事業



【5年間の進捗を確認する重要業績評価指標（KPI）】

項目	基準値	目標値
地域の連いの場の参加者（人）	4,033 （令和3年度）	6,500
認知症サポーター養成講座受講者数（人）	552 （令和3年度）	600
地域活動に参加している人の割合（％）	32.0 （令和3年度）	34.5
自主防災訓練を実施している地区数（地区）	15 （平成30年度）	20

評価事務のスケジュール

